

平成5年(1993年)
Jリーグ開幕
皇太子殿下ご成婚
55年体制崩壊 細川連立内閣成立

- 2月 野田住宅開発区域の地名を「ほると台」とする
- 4月 田原町博物館オープン
めつくんはうすが建設省より「道の駅」に認定
- 5月 国体リハーサル大会(第46回東海9人制バレーボール選手権大会)開催
- 8月 渡辺嶺山記念碑が田原城跡公園に完成
国体自転車競技リハーサル大会開催
- 9月 たはら風保存会の「けんか風合戦」が町の無形民族文化財に指定
- 10月 嶺山生誕200年を記念して「嶺山・江戸まつり」開催
- 11月 渡辺嶺山先生の記念切手が郵政省から発行

たはら歴史探訪クラブ

その3

風変わりな墓石

たいていの墓地には、無縁仏が安置される一角があります。ここには、弔う縁者がいなくなった墓石や、放置されていた墓石、石塔などが集められています。その中には近年の墓石や、墓標とした石、いかにも古스러운五輪塔があります。中でもひととき変わった墓石を見つけたことがあります(写真)。ふつう墓石は角柱状ですが、この墓石は薄い板状で、頭は尖り、正面上方には円が、円の下の横線が、その下には方形の区画の中に戒名が、そして戒名の横には年月日が彫られています。正面はきれいに仕上げられています。背面は粗っぽく割られています。この墓石の年代はだいたい西暦一六〇

〇年の前半代、つまり江戸時代の初め頃のもので、石の質も他のものとは違う青っぽい色をしています。この墓石は研究者の間では「伊勢湾周辺式板碑」と仮称されています。ちなみに板碑とは、中世に作られた死者を供養するための石製の塔婆のことで、墓石とは葬られた場所(墓)を示す石製の墓標を一般的に指します。今日、亡骸は茶毘に付し、骨壺におさめられ、墓石の下に安置されますが、埋葬地とお参りする場所が異なる両墓制という形態の墓もあり、その場合供養塔(塔婆)が建てられ、そこにお参りします。

この墓石について重要な点が二つあります。一つは、伊勢湾周辺式板碑は形態的に板碑と似ていながら、死者の戒名が彫られる、という供養塔と墓石との中間的な性格を持っていることです。

もう一つは、伊勢湾周辺でしか見られない特有の形態と伊勢地方の石を使用していることです(新しい時代のものは花崗岩を使用しており、背面も整った形になる傾向があります)。

この二つのことは、渥美半島と伊勢に海運を介した物質の交流があり、同じ墓の文化を持っていたことを表し、また中世から近世の時代変化が墓石にも現れたことを示しています。この墓石は伊勢湾を巡る文化の重要な証人なのです。

あなたの家の近くの墓地にも、この墓石があるかもしれません。でも、観察する際は亡くなった方への敬意を忘れずに。

(城宝寺の伊勢湾周辺式板碑)



(三重県神島の伊勢湾周辺式板碑)



▽田原町博物館 ☎222局1720

広報たはらは、森林資源保護のため再生紙(古紙100%)を使用しています

今月の表紙

「日常を愛する」

かわいい子ブタの競争「トントンレース」に熱中する人々。その一瞬を焼き付けた写真には、様々な「いきいきとした」表情が写っています。私たちの一生は、一つの連続した時間です。でも別の見方をすれば、それは「瞬間」の積み重ねであると言えるかもしれません。

人間は、過去に学び、今を生き、未来を想う生き物です。「いきいきとした一瞬」をたくさん重ねてこそ、「すばらしい未来」がやってくるような気がします。

たとえ、ありきたりな日常でも、愛して生きていますか？

そして、素敵な未来、イメージで生きていますか？

【人口と世帯数】

総人口	36,891人
男性	18,882人
女性	18,009人
世帯数	11,512世帯

出生	29人	死亡	17人
転入	162人	転出	163人
増減	11人		

(平成13年5月1日現在・増減は4月中)

【行政面積】 82.86 km²

(平成11年10月1日現在・国土地理院調べ)